

保護者様

今治市立日吉中学校 門岡 達也

学校評価の集計結果について

春暖の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より本校教育活動につきまして、何かとご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、今年度学期末に2回、生徒・保護者の方々にお願いしました学校評価の集計結果ができましたのでお知らせいたします。この評価結果を基に、職員会・学校運営協議会を実施し、より良い学校づくりのために検討を行いました。結果は下記のようにになりました。生徒がより良い学校生活を送れるよう学校運営の改善と発展を目指していこうと考えておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

1 学校の教育目標の達成状況（概要）

重点目標と具現策に関する評価結果 ※1・2学期末の実施結果の平均

（ア：そう思う イ：ややそう思う ウ：あまりそう思わない エ：そう思わない）

(1) よく学ぶ生徒の育成

ア 授業の工夫・改善に努める

	評価項目	ア	イ	ウ	エ
教員	授業改善	36%	64%	0%	0%
生徒	分かりやすい授業	71%	27%	2%	0%
	授業内容を理解	37%	46%	14%	3%
保護者	授業内容を理解	14%	49%	32%	5%

イ 学習規律・習慣を身に付けさせる

	評価項目	ア	イ	ウ	エ
教員	学習基盤の確立	55%	41%	4%	0%
生徒	「日吉学問のすすめ」の活用	58%	33%	7%	2%
	Aノートへの取組	46%	38%	12%	4%
保護者	「日吉学問のすすめ」の活用	14%	46%	34%	6%
	Aノートへの取組	19%	45%	28%	8%

ウ 言語能力を育てる

	評価項目	ア	イ	ウ	エ
教員	言語活動の充実	36%	59%	5%	0%
生徒	積極的な話し合い・発表	35%	45%	18%	2%
保護者	意見を持ち、家族や友だちに伝える	25%	56%	18%	1%

(2) 思いやりのある生徒の育成

ア 道德教育を充実する

	評価項目	ア	イ	ウ	エ
教員	道德教育に体験活動を関連付けて生かす	13%	70%	17%	0%
生徒	思いやりの気持ちを持って、友だちと協力して学校生活を送る	68%	29%	2%	1%
保護者	友だちに思いやりを持って接する	47%	45%	7%	1%

イ 自他の命を大切にする

	評価項目	ア	イ	ウ	エ
教員	人権・同和教育の研究と実践	18%	78%	4%	0%
生徒	自他の命を大切にした行動	73%	23%	4%	0%
保護者	自他の命を守り、大切にす言動	47%	48%	5%	0%

ウ 福祉・ボランティア活動に取り組む

	評価項目	ア	イ	ウ	エ
教員	福祉・ボランティア教育の推進	44%	52%	4%	0%
生徒	奉仕活動やボランティア活動に積極的に参加	23%	25%	30%	22%
保護者	奉仕活動やボランティア活動に積極的に参加	23%	38%	32%	7%

(3) 心身ともにたくましい生徒の育成

ア 温かい心を育てる

	評価項目	ア	イ	ウ	エ
教員	コミュニケーションを通して、温かい心の育成	57%	43%	0%	0%
生徒	コミュニケーションを通して、より良い人間関係をつくる	62%	31%	5%	2%
保護者	友だちや先生とより良い人間関係をつくる	39%	56%	5%	0%

イ 健やかな体をつくる

	評価項目	ア	イ	ウ	エ
教員	体育的・文化的活動の充実	39%	52%	9%	0%
生徒	部活動や体育的行事等に積極的に参加	69%	24%	6%	1%
保護者	部活動や体育的行事等に積極的に参加	46%	45%	7%	2%

ウ 規範意識を育てる

	評価項目	ア	イ	ウ	エ
教員	社会性を育て、規範意識の定着	48%	52%	0%	0%
生徒	学校のきまりを守り、社会のルールを身に付ける	51%	40%	7%	2%
保護者	学校のきまりを守り、社会のルールを身に付ける	24%	62%	13%	1%

(4) 業務改善

	評価項目	ア	イ	ウ	エ
教員	生活の質を高め、効果的な教育活動に努める	35%	48%	17%	0%

2 主な取組の課題と改善

(1) よく学ぶ生徒の育成

授業の工夫・改善についての教職員・生徒の評価は高い。教職員の評価は、昨年度と比べると更に高くなっている。しかし、理解についての生徒の評価は低く、保護者の肯定的な評価は生徒と比べて依然として低い。

○ 工夫・改善について、基礎研修などの授業研究を多くの教職員でサポートし、全体の授業改善に生かした。教科会を開き、学力調査の結果から改善点を考えたり、ICT機器、EILSの効果的な利用方法や授業のユニバーサルデザイン化について話し合ったりすることで各教科の研修に努めた。

○ 「日吉学問のすすめ」やAノート（自主学习ノート）による習慣付け、家庭学習定着をねらいとした対面式のオンライン学習や学習相談、自習室の開設による学習機会の確保など生徒の学習環境の整備を行った。

(2) 思いやりのある生徒の育成

ボランティア活動についての評価が低くなった。生徒・保護者ともにボランティア活動とは何か、中学校で何を行っているかを認識していない可能性がある。生徒会主体のボランティア活動（ST+）についてHPや各種便り等で発信し、周知する必要がある。

(3) 心身ともにたくましい生徒の育成

教職員・生徒・保護者ともに評価が高い。生徒の規範意識の評価が高いが、遅刻の多さ、服装の乱れ、挨拶ができないなど評価と実態が結び付いていないところがある。保護者の評価は1学期と比べ、2学期は評価が低くなっており、地域での生活面における注意や啓発活動が必要である。

○ SCやSSWとの協力・連携を密にし、生徒一人一人の要望に応じた教育相談活動を展開する。また、不安を抱える生徒や保護者が多いため、教職員のスキル向上のための研修を実施していく。

3 その他

(1) 学校関係者による評価委員会の意見

- 部活動地域移行について現在どのように話が進んでいるのか。また、子どもたちが活動をする機会が減らないような仕組みになってほしい。支える立場であるこの協議会のメンバーで「地域で子どもたちを育てましょうね。」という姿勢がとても大切である。もっと学校運営協議会に頼ってもらってよい。
- 学校評価の結果から、教職員の回答の中に「あまりそう思わない」と答えている部分がある。それぞれの項目で改善に向けて行動した結果そう思うのか。それとも、何もやらずそう感じるのかでは大きく違う。これから課題に対してどのような対策が必要か継続して考えていってほしい。
- 交通安全について、特に下校時の交通マナーや事故が心配である。

(2) 保護者の意見（⇒回答・お願い）

- 教科書や問題集等、部活やプール道具と宿題でない教材や道具類はできるだけ置いて帰れたら助かります。
- 通学バッグが重すぎる。家で開かない教科書など、置き勉強してほしい。
⇒ 置いて帰ってよい教材を確認し、置いて帰るようにしています。さらに教材の見直しを行い、生徒の負担を軽減できるようにしたいと思います。
- スマホの扱い方については最近指導もしつけも難しいなと感じています。
⇒ スマホ安全教室やSNSなどの問題について定期的に指導を行っています。また、守ることができていないときは、その都度指導を行い、ルールを守ることの意義について指導を行っています。ご家庭でもルールやマナーについてご指導よろしくお願ひします。
- 自転車通学の範囲を広げてほしい。
⇒ 生徒数の減少により自転車置き場の確保が可能なため、来年度範囲を広げます。
- 冷暖房時に教室内で温度差がありすぎる。サーキュレーターなどで循環させてはどうか。
⇒ エアコンの使用については生徒の体調や感染防止対策に配慮しながら適切な利用を心掛けていきます。
- 授業内容が理解できているか、できていないか、小テストなどを取り入れてほしい。補習など、できる範囲で行ってほしいです。
⇒ 「学力向上」に向けて、学習内容の習得状況を確認する取組を行い、基礎・基本の定着に励みます。「スタディサプリ」の活用や定期テスト時の学習相談や自習室の開設による個に応じた学びの場を提供しています。他にも、対面式のオンライン学習による家庭学習機会の確保など、これからも工夫した学びの時間を提供していきたいと考えています。

いただいたご意見やご指摘を真摯に受け止め、次年度の重点目標や具現策、取組に反映することで、更に信頼される、魅力ある学校づくりに努めていきたいと思ひます。ご協力ありがとうございました。